

第47回日本美容外科学会総会・
第151回学術集会

モーニングセミナー2



レスチレン®を用いた「オーバーコレクションの回避と製品特性」 及び「遅延型アレルギー含む合併症対策」

日時

9月20日(金) 8:00~8:50

場所

第2会場 (虎ノ門ヒルズフォーラム4F ホールB)

座長

田中 亜希子 先生
あきこクリニック 院長



演者1

先山 史 先生
ふみビューティークリニック梅田院長



演者2

慶田 朋子 先生
銀座ケイスキンクリニック院長



現在、市場には多種多様なヒアルロン酸製材が存在しており、どの製材を選択するかで、臨床結果を大きく左右する。多くのヒアルロン酸はMonophasic製材だが、レスチレンシリーズはBiphasic製材に分類され違ったカテゴリーに位置付けられている。レスチレン® リド/レスチレン® リフト リドは厚生労働省の承認を取得しており、世界では100ヵ国以上で6500万回を超える治療実績を誇る。本セミナーでは、臨床試験データを複数交えながらレスチレン®シリーズの「G'(弾性)」「流動性」「膨潤性」に焦点を当てた解説を行い、ふみビューティークリニック梅田での実際の症例写真を交えながら製材選択基準の解説を行う。特に「流動性」に関しては、他製材の症例写真を供覧し、オーバーコレクションとの関連についても触れる。また、安全性においては「残留BDDE(架橋剤)」「最近注目されている高分子ヒアルロン酸の安全性と低分子ヒアルロン酸のリスク」が患者に及ぼす影響についての可能性を、銀座ケイスキンクリニックでの臨床結果と国内外の文献を用いて考察する。あわせて合併症発症時の対処法についても豊富な知見から詳細な解説を行う。

共催：第47回日本美容外科学会総会・第151回学術集会／ガルデルマ株式会社

GALDERMA

EST.1981